

香料インキ

小口シートにも対応

久保井インキ、100枚から

久保井インキ（大阪市東成区、久保井伸輔社長）は、フレーバーを発散する香料インキを拡販する。香油を充填したマイクロカプセルをインキに配合しており、印刷後に印刷被膜を軽くこすることで長期にわたりフレーバーを放出する。オフセットやUV（紫外線）オフセットインキなどを揃えており、小ロット生産にも対応する体制を整えた。標準グレード以外のフレーバーにも要望に応じてカスタマイズする。印刷物の市場が低迷するなか、高附加值インキとして提案して需要を掘り起こす。

香りもカスタマイズ

久保井インキは主力のUVインキをはじめ、メタリックインキ、水性フレキソインキなどを製造販売するインキメーカーです。会社設立は1951年で、大阪市城東区の本社工場で生産している。

するとしている。
る。

きょうのニュース

香り放つ「香料インキ」
久保井インキ拡販 6

6

L 久保井インキ（大阪市）はフレーバーを発散する香料インキを拡販する。香油を充填したマイクロカプセルをインキに配合したもので、印刷被膜を軽く擦ると長期にわたって香りを放つ。オフセットインキ、UVオフセットインキなどを揃えており、小ロット生産に対応する体制も整えた。標準グレード以外のフレーバーにも応じる。印刷物の市場が低迷するなか、高付加価値インキとして提案し需要を掘り起こす。



ノン、ローズ、ストロベリーミントなど多様な種類を揃える。ラインアップ以外の香りをマイクロ

カナゼル化するニーズにも対応可能としている。インキの種類はオフセッティング、UVオフセッティング、UVインキをはじめ、水性スクリーンインキ、オフセット輪転インキをラインアップしている。

従来は印刷物枚数が3万枚以上などの大ロットでしか受注対応していないが、このほど100枚からの小ロットにも

対応するサービスを開始
した。専用窓口となる「
エフサイト」「香り印刷」「
ットコム」も立ち上げて
おり、少量多品種のニ

ズも取り込んでいく構え。
同社の主力事業はUVインキで、フレーバーベーキングの売上高は全体の1%程度にとどまっています。オフセットインキの市場環境は商業印刷物の縮小により厳しさを増しており、同社では香料で印刷物を付加価値化できるインキとして提案を加速する方針。名刺やはがき、シール、チラシ、カタログなど幅広い印刷物で需要を掘り起こしていく。